

図書館だより 10月号

川之石高校図書委員会



皆さんは「読書週間」を知っていますか。10月27日（金）から11月9日（木）の文化の日をはさんだ2週間は、読書週間となっています。終戦の2年後の1947年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。



それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

川高図書館に新しい本も入りました。この機会に少しでも多くの人に本を読んでもらいたいものです。



【新任の先生より】

「心を整える 勝利をたぐり寄せるための56の習慣」(長谷部 誠 著)

数学科 山本 貴裕 先生



私が通っていた高校は、朝読書の時間がありました。時間にルーズな私は登校時間ギリギリに到着し、タオルで汗を拭きながら本を読み、落ち着く間もないまま朝読書が終わっていました。夏休み課題の読書感想文も、夏目漱石の「坊っちゃん」、「こころ」等の課題を出された覚えはありますが、何を書いたのか一切覚えていません。(果たして、ちゃんと読んだのか、ちゃんと書いたのか、ちゃんと提出したのか。高校時代の私に聞いてみたい。)

読書が苦手であった私ですが、高校時代、一冊の本に夢中になりました。それは、プロサッカー選手、長谷部誠さんの「心を整える 勝利をたぐり寄せるための56の習慣」です。この本に出てくる言葉の一部を紹介します。「苦しいことは真っ向から立ち向かう」、「自分と価値観が合わない人に対しては、つい悪いところに目がいってしまうが、良いところを探して信頼してみる」、「遅刻が努力を無駄にする」、「目には見えない土台が肝心」といった内容が書かれています。長谷部さんは、サッカーの経験を通じて学んでいます、すべての人に言えることだと私は考えています。

高校生のみなさん、楽しいこと、嬉しいこと、悔しいこと、納得のいかないこと、たくさんあると思います。アップダウンがあったときこそ、一回気持ちを落ち着かせて心と体をコントロールしてみてください。どんな物事にも冷静に判断し、次に繋げてください。大人になってから後悔したのでは遅いです。高校生だからできること、どんどんチャレンジしてください。チャレンジした後は、心をフラットにする時間を取り「心を整える」。これができれば楽しい高校生活が送れるでしょう。みんなが笑顔で高校生活を送っている姿を夢見て。

〔新刊図書の紹介〕

※新しい本が入りました。その一部を紹介します。

『木挽町のあだ討ち』(永井 紗耶子 著)

雪の夜、芝居小屋の立つ木挽町で、美少年の菊之助は父親を殺めた下男を斬り、みごとに仇討ちを成し遂げた。二年後、ある若侍が大事件の顛末を聞きたいと、木挽町を訪れる。秘められた真相とは……。

直木三十五賞・山本周五郎賞受賞作です。



『石田徹也 聖者のような芸術家になりたい』(堀切 正人 監修)

1990年代から2000年代初頭の「失われた時代」をもっとも苛烈に、かつ精確に描き出した画家・石田徹也。生誕50年となったいま、石田が作品に込めた想いを同時代史とともに読み解く。表紙の絵は、「飛べなくなった人」。世のしがらみから逃れ、自由に空を飛びたいが、しょせん地につなぎとめられている遊具にすぎない。サラリーマンの悲哀を端的に表した代表作です。

『自分を好きになりたい。 自己肯定感を上げるためにやってみたこと』

(わたなべぼん 著)

あなたは自分が好きですか？

幼少期のしんどい母子関係から、自己肯定感が低くなってしまい、「自分が嫌い」という気持ちを抱えて生きてきた著者。その感情を手放すべく「小さい頃の自分が親にして欲しかったこと」を一つ一つ実践してみたら、心が少しずつほぐれていって——。数多の共感を呼んだ感涙エッセイ漫画です。



〔8月・9月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

8月1日～9月30日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	合計
6冊	0冊	4冊	8冊	6冊	21冊	1冊	5冊	0冊	51冊

〈個人別〉

- 1位 10冊 (2-3) 清水 美愛
- 2位 7冊 (2-3) 竹内 夢乃
- 3位 4冊 (1-1) 宇都宮 妃南
- 3位 4冊 (1-3) 山内 悠司
- 3位 4冊 (2-1) 清水 英磨



「本は独自に持ち運び可能な魔法である。」

スティーヴン・キング (アメリカの小説家/1947~)